

蔵出し展

帝釈峡遺跡群



昭和 37 (1962) 年ごろ 帝釈馬渡岩陰遺跡



昭和 38 (1963) 年ごろ 帝釈寄倉岩陰遺跡



昭和 41 (1966) 年ごろ 帝釈名越岩陰遺跡

とき

7/4(土)~10/4(日)

場所

当館企画展示室

【展示】 当館の帝釈峡遺跡群出土の重要遺物など

昭和37(1962)年、全国20大学からなる帝釈峡遺跡群調査団が編成され、馬渡岩陰遺跡の学術調査が行われました。調査の目的は、「日本における旧石器時代人類とその文化」の解明でした。団長であった松崎寿和氏は、馬渡岩陰の下層になお2メートル余りの文化層が残り、寄倉岩陰では7メートル、戸宇牛川岩陰でも最下層の未発掘部分があり、これらの層から旧石器時代の暮らしの痕跡が見つかる可能性は高いと記しています。

調査された遺跡はまだ少なく、近い将来、旧石器人骨が実際に見つかる可能性は今も、なお高いのです。半世紀を越えて続く、先史時代への探求の歩みに思いをはせてみてください。

帝釈峡まほうぼの里

時悠館

じゆうかん

入館料/高校生以上410円(20名以上330円)
中学生以下無料
開館時間 9:00~17:00
休館日/水曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
(12/29~1/4)

オートキャンプ場併設 1泊2日 2,090円から

〒729-5244 広島県庄原市東城町帝釈未渡 1909
TEL(08477)6-0161 FAX(08477)6-0162
http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shisetsu/cat01/post_214.html
庄原市博物館キャンパスメンバーズ制度 - 学生証・職員証の提示で入館料免除 -

